

ふれ愛にしいうち



第3号

太田西ノ内病院広報誌・第3号

発行/財太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集/太田西ノ内病院広報委員会

発行日/平成13年5月20日

住所/郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024)925-1188

ホームページ: <http://www.ohta-hp.or.jp/>

太田西ノ内病院に思廻すこと

財団法人太田綜合病院理事
元太田綜合病院病院長

小方 文 哉

本誌の創刊号、第二号に、理事長、院長、太田副理事長によって太田西ノ内病院の理念、現状、未来が語られました。

私は過去の人間であります。太田病院の創立者太田三郎の存命中その傘下に加わった者は殆どいなくなりました。私が太田病院に来たのは昭和十二年、いまから六十余年前の昔であります。過去の人間は過去を語ります。

当時の太田病院は中町にあり六十床ほどの小さな病院でした。戦後、地域の要求に従って二、三の分院が建てられ、また無医村対策として近郊数か所



明治41年	7月5日	東京に生まれる
昭和10年	3月	東京帝国大学医学部医学科卒業
	4月	内科物理療法学教室助手となる
	12年	4月 太田病院内科医員に就任
	22年	4月 内科部長となる
	26年	5月 副院長に就任
		10月 財団法人太田綜合病院副理事長に就任
	50年	4月 太田綜合病院病院長就任
	54年	10月 病院長辞任
	55年	4月 副理事長辞任
平成13年	4月	現在 理事

に診療所が造られ、医師、看護婦が派遣されました。それも時の推移とともに県内の医療情勢の変化に応じて次第に整理統合され、現在の記念、熱海、西ノ内の三病院併立の形に収束しました。三病院は拡張整備されそれぞれ特徴を持っております。記念病院はプライマリケア、健診センター、介護支援センター、熱海病院はリハビリテーション、予防医学を担当し、西ノ内病院は救急医療、高度医療を目標し、傍ら厚生省指定の医師臨床研修の場となっております。もちろんこれのみにこだわることなく、三病院それぞれに独

立した総合病院としてその機能を発揮しております。

私が初めて医師になったころは抗生剤はもちろんサルファ剤もなく、当時多かった赤痢・腸チフスはただ隔離して他への感染を防ぎ、食餌を規制してあとは自然治癒を待つだけ、肺結核は全国に蔓延していても有効な薬もなく、手術も行われず大気安臥療法が主で、僅かに人工気胸術がやや積極的な治療法として行われているにすぎないという状況でした。

二十世紀後半からの医学、医療の進歩はまことにめざましく、有効な薬剤が次々つきつぎと開発され、手術によって生命の救われることも多くなりました。感染症は多く克服され、天然痘は絶滅、結核死は激減し、いわゆる難病も次第になおるようになってきました。臓器移植がしばしば行われ、更には遺伝子治療、再生医療も話題にのぼっています。

一方考えられないような医療事故の報道が、世をさわがしているのがまことに残念であります。研究熱心の医師たちが、先端技術を追うあまり足もとをみることを忘れていたのではないのでしょうか。

太田西ノ内病院も高度医療を目標としております。新しい医学医療をとりいれて地域の要請に応えねばなりません。足もとをしっかりと踏み締めて一歩一歩堅実に前進してゆくように願ってやみません。

診療科紹介

小児科

■小児科って何をすることろ？

小児科には病気の治療をする分野と、病気の予防をする分野とがあります。小児科で治療する疾患には、子ども以外の科で治療する疾患（一部大人では他の科で治療する疾患も含む）、および小児科特有の疾患（新生児の異常、未熟児など）があります。当院では、小児科で診察する年齢を、一応、初診時中学校卒業までとしています。が、疾患によって、あるいは患者さんのご希望によって、大人になってからの小児科通院や、20歳を過ぎてからの小児科初診という場合もあります。

■当院小児科はこんなところですよ。

当院では、小児科医として様々な訓練を受けた9人の医師が、診療にあたっています。日本小児科学会認定医が若年医師の指導も行っており、中通りでは県立医大以外で唯一、厚生労働省指定の研修指定病院として、医師の育成をしています。日本小児神経学会認定医、日本アレルギー学会認定医、日本小児科医会認定こともの心相談医もおります。ただ先にも述べましたように、診療分野が多岐にわたったり、少ない人数では専門領域をカバーしきれないため、院外から8人の専門分野の教授、助教授クラスの小児科医師の応援を受



生井良幸 馬場一徳 井手秀平
福岡雅菜子 飯森裕一 犬塚 亮 岡部起代子

けています。それぞれの医師が、当該分野の疾患治療に精通し経験も豊富なおかげで、子ども達には大きな力となっています。

新聞などで、小児科救急体制の不備が取り上げられることも少なくありませんが、当院小児科では、診療時間外は当直・日直体制をとりながら、一般小児科疾患担当医と新生児疾患担当医が常に任にあたっており、他の医療機関からのご紹介患者さんや、生命に関わる疾患の患者さん、急な出生もあり得る病的新生児、当科に通院治療中に具合が悪くなった患者さんなどは、必

ず即刻、検査治療ができるようにしております。

このような体制のため、小児入院病棟には紹介、救急で入院となった重症の患者さんも多数おられますが、一方で通常の診療時間中は日常的な病気や心配事にも対応しているため、様々な病状の子ども達がいまいます。入院する病気の種類としてはあらゆる急性感染症と慢性疾患とに分けられますが、後者には、血液悪性腫瘍、てんかんや脳性麻痺などの神経疾患、腎疾患、気管支喘息、心疾患、糖尿病や甲状腺などの内分泌疾患、ときに精神医学的疾患が含まれます。重症の新生児疾患の治療室としてNICUと呼ばれる施設とその関連部門があり、外科疾患も含めたあらゆる新生児疾患の治療が行われます。

また長期にわたる入院が必要な小中学生のために、県立須賀川養護学校の訪問学級が設置されており、入院期間中も病状と学力に応じた勉強ができ

るようになっていきます。

■新生児医療について一言

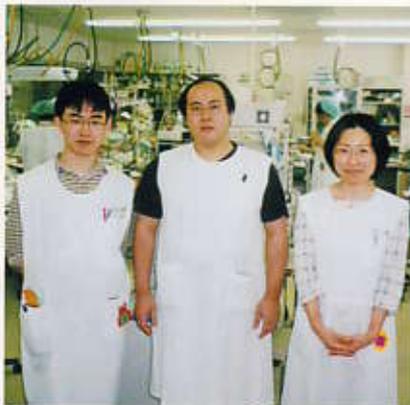
近年、国の方針に従って、妊娠が判ったときから、出生した新生児が退院できるまでを、専門的、集中的に管理治療する施設として、都道府県ごとにいくつかのセンターを置くところが増えてきています。福島県では総合周産期母子医療センターを県立医大に設置することが決まりましたが、それに次ぐレベルをめざす施設として当院小児科も体制を整えつつあります。

■当院小児科の今後について

先にも述べましたように、日本全国で小児の救急医療が問題とされていますが、当科の時間外の診療も、少ない数の小児科医で多数の患者さんの多様なご要望に十分応えきれてはおりません。時間外の診療でも待ち時間が長いことがあるのはその例です。市や県などの自治体や各医師会との連携のもと、本当に必要とする子どもには遅滞なく医療を受けていただける体制づくりに努力する必要があります。また、大人の生活習慣病対策ほどではないにしても、小児科にも、急性疾患のみならず、慢性疾患を持つ子ども達の生活全般を支援できる力を貯えたいと考えています。

小児保健から慢性疾患まで、幅広く、明日を背負う子ども達のお役にたてるような医療者集団でありたいと考えております。皆様のご指導とご支援をお願い致します。

(飯森裕一)



NICU担当医師
池田弘之 石黒秋生 菊地水穂

西ノ内見聞録

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その全容にせまってみたいと思います。

16病棟



16病棟スタッフ

**患者さんの早期回復と
社会復帰を目指して
「思いやりの心で個別性の
看護を」**

16病棟は本館7階の西側にあります。現在入院されている患者さんは、外科では手術を目的とした方、皮膚科では入院をして集中的に治療を必要としている方です。外科は胃や大腸、乳房、甲状腺に疾患を持った患者さんが多く入院されています。患者さんの年齢も高齢化に伴います。80歳代で手術をされる方も多くなっています。ほとんどの方は手術をするという



16病棟ナースステーション

事だけでも精神的なショックが大きいのですが、それに加えてボディイメージの変化を伴う事もあり、回復への不安や社会復帰への不安を持つ事もあります。このような患者さんの不安を最小限にするために、手術前のオリエンテーションを行いコミュニケーションを多く持つたり、手術後の合併症を起こさないように手術前訓練を行ったりします。また手術後は早期回復のために状態を観察しながら早期離床をすすめ、また社会復帰に向けてセルフケアの確立のため個別性のある指導に心がけています。

16病棟に入院される患者さん方が安心して入院生活が送られたり、手術が受けられるよう、思いやりを持って患者さん個々に合った看護が提供できるようにスタ

整形外科



整形外科スタッフ

**やさしさと思いやりの
気持ちを大切に**

整形外科は、骨、関節、筋および脊髄神経などの運動器に疾患のある患者さんの診療をしております。患者さんは、一日約120〜130名来院しております。診察、リハビリ室での機能訓練、物療室でのマッサージ、牽引をうけられる方とさまざまな目的で来院されています。

診察の待ち時間があるため、機能訓練やマッサージがある患者さんに対して

スタッフ一同、日夜看護に精進したいとおもいます。
(遠藤めぐみ)



診察室の様子

は、診察前に受けていただいたり、再診時にレントゲン撮影が必要な患者さんに対しては、待ち時間にレントゲン撮影がスムーズにできるように対応しています。しかし、患者さんの数や外傷などの救急患者さんの来院状況によっては、待ち時間が長くなることもあります。

整形外科を受診し、長時間診察をお待ちになった患者さんに、「大変お待たせして申し訳ありません」と声をかけた所「看護婦さんだって大変だ」とやさしい声をかけていただき疲れている事も忘れ、患者さんが帰られる時に、いつもより大きな声で「お大事にして下さい」と言っている自分がいました。思いやりのある言葉をかけていただきありがとうございます。

整形外科を受診していただく患者さんが満足していただけるようやさしさと思いやりの気持ちを大切に、医師7名、看護スタッフ6名で日々努力していきたいと思っております。
(佐藤友子)

事務室より保険証ウラばなし

何にでも表があればウラがある。そのウラにあるものが意外と大切だったりすることがあります。今回は保険証の裏(最後の部分)についてお話をさせていただきます。

ご存知の通り保険証は、大きく分けて「社会保険(以降、社保)」と「国民健康保険(以降、国保)」があります。そのどちらにも「注意事項」が印刷されていますが、読んだことはありますか? それぞれの保険で少し内容は異なりますが、こんなことが書いてあります。

まず、最初の方に「次の者は、老人保健(法)の医療をうけることに…(略)」と、老人保健が適用となる年齢と、病院に受診する際は老人保健の健康手帳と健康保険証を一緒に、病院の窓口に出すよう書いてあります。

時々「今は、これしか(どちらか片方)ないからこれでお願いします。」などとおっしゃる方がいますが、残念ながら両方揃わないと、病院では保険扱いできないということなのです。

医療費の自己負担の割合や、それ以外にかかる費用等についてもかかれています。病院でお薬をもらったときに「薬剤一部負担金」をお支払いいただく場合がありますが(免除される場合もあります)、その金額についても種類ごとに明記されています。

また、県内の市町村で発行している国保には乳幼児の無料対象年齢や、一定条件以上の妊婦さんに対する助成制度・手

続き方法などが記載されていますから、知っているのと知らないのでは大きな違いです。但し、市町村によって内容が異なったり、時々変更になったりします。変更時期が保険証の更新時と違っている場合もありますので、「注意事項」とあわせて行政便りなどにご注意ください。

国保に無い注意事項として、社保には「この証では、業務上で発生した傷病及び通勤災害については診療はうけられません。」という禁止条項があります。この場合は「使ってはならない」ので、社保は使えません。(労災保険等の出番になります。)

次に、保険証の記載事項に変更があった場合は、「国保は14日以内」に、社保は「すぐに」届出する必要があります。例えば国保に入っていた方が、会社に就職した時などがそれにあたります。ここで注意しなければならぬのは、今まで入っていた保険証を変更する前でも別な保険への加入手続きが進められている場合は、既に今までの保険は使えない状態になっているということです。「まだ新しい保険証が出来ていないので今日はこの保険証で扱ってください。」ということには出来ません。その逆に会社を退職した時や、有効期限の切れた時は、その時点で保険の資格は無効になります。手元があれば使えるということではありませんので、注意が必要です。

最後に「不正にこの証を使用した者は、刑法により詐欺罪として懲役の処分を受けます。」とあります。ご自分の保険証です。是非「注意事項」に目を通して正しく使用して下さい。(鈴木伸佳)

彩食健美

グリーンピースの春巻き



【材料】〈1人分〉

春巻きの皮	1枚	練りがらし	適宜
グリーンピース	60g	しょうゆ	適宜
(鞘なし)		マヨネーズ	適宜
芝えび	50g	つぶマスタード	適宜
塩・揚げ油	適宜	パセリ	適宜
レモン	適宜		

エネルギー 〈1人分〉 222kcal

風薫る5月。この季節になると青々とした鞘に包まれたグリーンピースが目につきます。冷凍や缶詰めなどの加工品は一年中手に入りますが、鞘入りのグリーンピースが店頭にも並ぶのは春から初夏にかけてのわずかな期間です。旬であるこの季節にこそフレッシュな豆の香りや甘みを味わって下さい。たんぱく質はもちろんビタミンB1・B2・Cも豊富な食品です。定番の豆ご飯で旬の味を満喫するのも良いでしょう。今回は、おつまみにも喜ばれる「グリーンピースの春巻き」をご紹介します。海老の赤とグリーンピースの緑がさわやかな一品です。

【作り方】

- ①グリーンピースは鞘から取り出し、塩を加えた熱湯で少し柔らかめにゆで、粗くつぶす。(ビニール袋に入れ、手で押さえつつつぶすと良い。)生の芝えびも殻をむき、一尾を三切りにします。
- ②春巻きの皮を半分に切り、横に置き皮の中央に刻んだえびを並べ、その上につぶしたグリーンピースをのせます。
- ③端を1cmぐらいあけてのり巻きを巻く要領でグリーンピースとえびを巻きます。端と左右の縁に水を付け、しっかりととじ合わせます。
- ④揚げ油を120〜130℃(低温)に熱し③を3分間ぐらいかけてカリッと揚げて器に盛り、くし形に切ったレモンを添えます。
- ⑤辛子しょうゆと刻んで水にさらしたパセリとつぶマスタード・マヨネーズをあわせたソースを器に入れて添えます。



あさか内科クリニック



渡辺医院



宮田泌尿器科



オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師のご紹介をしていきます。

渡辺医院



院長 渡辺喜栄

昭和31年 福島県立医科大学卒業、太田綜合病院にて研修
昭和32～42年 太田綜合病院外科勤務
昭和42年 渡辺外科胃腸科医院開業
平成2年 歯科を併設、院名変更「医療法人 渡辺医院」へ



渡辺先生（後列左端）とスタッフのみなさん

所在地 / 〒963-8041 郡山市笹川2丁目203
電話 / 024-945-1477
FAX / 024-945-5822
診療科 / 外科・胃腸科・内科・歯科
休診日 / 日曜・祝祭日
診療時間 / 月～金曜日：午前9時～12時
午後1時30分～6時
土曜日：午前9時～12時
午後1時～3時まで
病床数 / 10床
往診・訪問診療 / あり

登録医から

今秋で開業34周年を迎え、安積町では一番古い開業医となりました。平成2年より歯科を併設し現在に至っています。
太田西ノ内病院さんとは、病診連携が円滑に行われ患者さんには大変感謝されております。
当医院では、老人・地域医療に力を入れ、職員一同「思いやり」の心を持って患者さんに接するよう心がけ、診療にあたっております。
最近では、手術や詳しい検査の必要な患者さんは病院に紹介し、ホームドクターに徹して、病気の治療だけでなく、患者さんとのコミュニケーションを取るなかで、心のケアにも気配りし、患者さん本位の医療をしております。これからも地域医療、訪問診療に重点をおき、特に寝たきり老人の診療に力を注ぎたいと思っております。
太田綜合病院さんの基幹病院としての益々の御発展を御期待申し上げます。

所在地/963-0105

郡山市安積町長久保1丁目1-5

電話/024-937-3939

FAX/024-937-3933

診療科/内科・循環器科・消化器科・小児科

休診日/日曜・祝祭日、水曜午後

診療時間/月・火・木・金曜日

：午前9時～12時

：午後2時～7時

水曜日：午前9時～12時

土曜日：午前9時～12時

午後2時～5時

病床数/なし 往診・訪問診療：あり

その他/各種健康診断・予防接種

あさか内科クリニック



大槻先生（後列左端）とスタッフのみなさん



院長 大槻 誠

平成元年 福島県立医科大学医学部卒業
平成2年 福島県立医科大学第3内科入局
平成6年 福島県立医科大学第3内科助手
平成7年 医療法人慈雲会附属土屋病院内科部長
平成8年 医学博士号取得
平成11年 「あさか内科クリニック」開業

登録医から

かかりつけ医として、患者さんが家族に相談するように来院していただくことを理想とし、2年前に開業しました。

当院の診療内容は、3つに分けられます。1つは外来診療で、専門としている高血圧、糖尿病、腎臓、内分泌（甲状腺）疾患を中心に消化器、心疾患、小児一般を診ています。

2つめは在宅診療です。かかりつけの患者さんや病院から紹介された患者さんで通院困難な場合には、訪問診療を行っています。かかりつけの患者さんに限り、往診も行っています。

3つめが、健診と予防です。市の基本健診、肺病、胃痛、大腸癌検診とともに、企業検診や希望の方には胃内視鏡などを用いてのさらに詳しい検査も行っています。また、乳幼児、児童、生徒の各種予防接種も行っています。

外来診療、在宅診療、健診のいずれにおいても高度な医療レベルを保ち患者さんに信頼してもらうためには、それぞれの専門医と高度医療機器をそなえた太田西ノ内病院と連携させていたことが重要と考えています。

宮田泌尿器科

所在地/〒963-0105

郡山市安積町長久保1丁目4番地の2

電話/024-945-8101

FAX/024-945-8102

診療科/泌尿器科・内科・肛門科

休診日/木・土曜日午後、日・祝祭日

診療時間/月・火・水・金曜日

：午前9時～12時

：午後2時～6時

木・土曜日：午前9時～12時

病床数/19床

往診・訪問診療/なし



宮田先生（前列左から3人目）とスタッフのみなさん

登録医から

太田病院とのお付き合いは、意外と古く、29年間の長きに渡っています。その頃の泌尿器科は、太田病院（現在の記念病院）と寿泉堂病院の2つしかなく、先々代の石橋部長とは、手術などを、お互いの病院でアシスタントをしながら連携したものです。

当院は、安積町に開業して、22年目を迎えようとしており、未だへこたれず気力をふりしぼりやってはおりますが、長時間に渡る手術は最近では、殆ど村上部長（太田西ノ内病院・泌尿器科）にお願しているのが現状であります。幸い太田西ノ内病院にも地域医療連携室ができ、患者さんの紹介も、非常にスムーズに行えるようになり大変感謝しております。最近も、造影剤や粘膜麻酔、トラブル、前立腺癌の症例、膀胱癌に対する全摘と尿路変更術、数え上げたら枚挙に遑がありません。

私共開業医にとって、又地域住民にとっても、その恩恵は大変大きく、今後ますます、郡山市のセントラル、ホスピタルとしての役割を果たしていけることを、期待するものであります。

院長 宮田 宏洋

昭和46年 東北大学大学院卒業

昭和46年 福島労災病院勤務

昭和48年 寿泉堂総合病院泌尿器科部長

昭和54年 宮田泌尿器科開業

新しい仲間を迎え よりフレッシュに!



4月2日より、当院にも新採用職員が仲間入りした。
看護婦55名、放射線技術師4名、事務員4名、栄養士3名、その他医療スタッフ13名が新たに配置された。彼等は一週間の研修（警備青年の家にて宿泊訓練、施設見学）を無事終了し、4月9日より各所属で勤務に励んでいる。

なお、5月1日より薬剤師2名、臨床検査技師1名が新たに配置されている。



—4月2日に行われた新採用職員辞令交付式—

データ

伊藤理子 ちゃん

- 2001年4月23日 13時01分生まれ
- 体重3410g
- 父：伊藤広行さん
- 母：伊藤和枝さん



理子ちゃんとお母さん

- ①うれしかった。
- ②2人で相談してこの名前に決めました。
- ③元気で明るく育ててほしい。
- ④みんなで仲よくやっていこう。

データ

村井祐実 ちゃん

- 2001年4月22日 18時22分生まれ
- 体重3035g
- 父：村井健一さん
- 母：村井純子さん



祐実ちゃんとお母さん

- ①かわいい!! うれしい!!
- ②画数が良かった。ひびきが良かった。
- ③素直で、やさしい子
- ④3人で家庭を大事にしていこう。

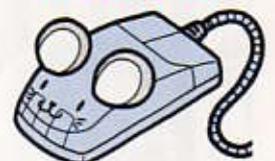
★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②名付けの理由
- ③子どもに願うこと
- ④ご両親の決意を一言

編集後記



今年の冬は、雪が多く、寒さもきびしく大変でした。通勤にも、大分エネルギーを費やしました。その分、いつもより春が、待ち遠しく感じられました。長い冬の間、蓄えられていたエネルギーが、一気に、わきだしてきたようです。

桜の季節とともに、社会人となった人達のさわやかな笑顔と緊張した姿に接すると、新鮮な気持ちになります。

あわただしい毎日ですが、何事にも、ゆとりをもって、ゆっくりとしたペースで、確実に、進んでほしいと思います。時には、ほっと、一息つくことも大切です。

来年の今頃は、どんな表情をしているか、とても楽しみです。たくさんのお客様を通して、よい刺激を受けながら、お互いに、成長していけるように思います。

(吉成 妙子)

太田西ノ内病院広報委員会

- 委員長 佐久間秀夫
- 委員 吉成 妙子・遠藤めぐみ
朝倉 俊成・後藤 桂子
松田美津子・荒川 幸徳
木原 均・久下 薫
佐藤 浩徳(幹事)